

スマート農業をリードするオランダの先進的な施設野菜生産技術の実態調査

農林水産部

担い手支援課

主任上席普及指導員

引地睦子

生産振興課

副主査

中村春菜

農林総合研究センター

上席研究員

木村美紀

海匠農業事務所

普及指導員

森井智美

長生農業事務所

普及指導員

峰島 恒



7m軒高の大規模園芸施設

1 研修期間 平成30年10月28日～11月4日

2 研修先

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 試験研究機関 | : ワーヘニンゲン大学 |
| (2) 農業コンサルタント会社 | : デルフィー社 |
| (3) トマト生産者 | : ウソーレン農場 |
| (4) 温室設備会社 | : プリバ社 |
| (5) 種苗会社 | : ライクズワーン社 |
| (6) 苗生産会社 | : ファルスター社 |
| (7) 販売・パッキング会社 | : グリーンパック社 |
| (8) 教育・研究・展示施設 | : ワールドホルティセンター |



トマト栽培施設（ライクズワーン社）

3 課題・目的

課題：施設園芸の生産力強化

- 目的：(1) 高収量生産を支えるスマート農業技術の開発と導入推進について調査する。
(2) 超大規模経営を可能としている効率化のしくみを調査する。

4 調査結果・考察

(1) 各機関が連携した高度な環境制御技術の開発と現場へのスピーディーな普及

○試験研究機関

↓ 生産者からの要望と資金提供による研究開発

○温室設備会社

↓ 研究成果に基づくICT機器の開発と商品化

○農業コンサルタント

↓ 植物の生育を最大にするICT機器の活用実証と技術普及

○生産者（スタディークラブ）

生産者相互の情報交換による栽培技術の高位平準化

(2) 生産者が収穫に専念するための効率的な栽培体系

○ロボット化：摘葉作業や運搬作業等の自動化

○専門会社への外部委託：

苗生産、パッキング・販売、施設の清掃等の外部委託

○農場作業の進捗管理：ICTを活用した作業状況の把握

5 本県への応用に向けて

○企業等と連携した支援体制の構築

○生産者間の情報交換の促進

○作業の外部化による効率的な生産体制の検討

○効率的な栽培管理を行うモデル経営の育成



ワーヘニンゲン大学



農業コンサルタントとのミーティング



苗生産会社（ファルスター社）